

学期末レポート

課題

「現代都市法の特質と課題」

課題を答えるに当たり、以下の用語を総て、必ず、織り交ぜること。

織り交ぜた以下の用語については、下線を引いて明示すること。

線引き、容積率、建築協定、地域交通、誘導、自主条例、地区計画、用途地域
再開発、スプロール化、地方分権、災害、土地収用、公共貢献、立地適正化計画

字数 特に制約なし

(採点のポイント)

各単語の意味をインターネットなどで調べて、つなぎ合わせただけのレポートには高い評価を与えていません。レポート全体として、現代の都市法が抱える問題点を描き出しているのかに注目しました。何処まで具体的に理解し、自分の言葉で表現できているのかに焦点を当てて採点しました。なお、今回の講義ではかなり具体例を交えて解説したので、それを前提としていることから他の書籍などをカットアンドペーストした抽象的な記述の目立つレポートも、高い評価には結びついていません。自身の問題関心が正面に出たレポートは高く評価しました。